

INTEGRATED REPORTING <IR>

IIRC ニュースレター：2月号

統合報告を推奨する 国際会計士連盟

IFAC（国際会計士連盟）では、『統合報告』は、より一貫性のある企業報告システムを実現する方法であり、時間の経過とともに価値を創造する組織の能力をより十全なかたちで提供する統一報告書の必要性を満たしている。」とする文書を発表した。

同文書では、IFAC による IIRC への強い支持表明と『統合報告フレームワーク』の実施について明記されている。IFAC はさらに、「組織が発行する各種報告書やコミュニケーションツールの広範囲な組み合わせのための『包括的』報告書として統合報告書を使用することが可能であり、統合報告書によって異なる報告書間の相互接続性を高めることが可能となると確信している」と述べている。

IIRC の CEO、Richard Howitt はこの発表について次のようにコメントした。

「IFAC の立場を示すこの最新ペーパーこそ、統合報告のきわめて重要な裏付けとなるものです。IFAC は、異なる資本をもつ多様な企業による異なる報告活動から断片化が生じてしまうと認識しているのです。同ペーパーでは、IIRC に共鳴する企業や投資家の連合が自社で行っているのとまったく同じ方法で、『統合報告』がその他の各種報告を『包括』するものとなることが正しく認識されています。IFAC は、企業報告およびその他のイノベーションの明確な方向性を支持するひとつのモデルなるべき、未来志向のグローバル組織です。IIRC では、IFAC がこの新たなポジションを採用し、それをさらに進化させつつ、プロフェッショナルの会計士たちが果たすことのできるリーダーとしての役割を認識してくださったことを喜ばしく思います。IIRC は、統合報告が

最新記事：

Stratton Craig 著：
Re-aligning the capital markets for today's needs
(現在ニーズに向けた資本市場の再調整)

Forbes 誌：

Why company success relies on integrated thinking
(企業の成功に統合的思考が必要な理由)

Novo Nordisk 社
Susanne Stormer 氏へのインタビュー

IIRC CEO

Richard Howitt 著
(International Accounting Bulletin 誌所収)：
Davos initiatives can address the trust deficit
(ダボスの取組みが対処する「信頼の赤字」)

ビジネス界の世界標準となるよう、IFAC および世界中の会計プロフェッショナルの皆様との緊密な協力を継続していきたいと考えています。」

インド証券取引委員会、 インドのトップ 500 社に 統合報告の採用を要請

SEBI(インド証券取引委員会)では、インドのトップ 500 社に「統合報告」の採用を求める冊子を発刊した。IIRCでは、CEOのRichard Howittの次のようなコメントとともに、SEBIの発表を歓迎する。「インドの証券規制当局からトップ 500 企業に宛てたこの公式の要請は、インドのみならず国際的な『統合報告』の普及に向けたさらなるブレークスルーの瞬間でもあります。」

「これは、インドの上位企業が現在着手している『Business Responsibility Report』が、『国際統合報告フレームワーク』で提唱されている長期的価値創造という明確な目的をもつ十全な統合報告書に向けたひとつの足がかりとなる、という明確なメッセージを伝えるものです。」

「SEBIのこうした活動は、企業報告をインド経済において進捗中のイノベーションと制度改革の中心に位置づけるものです。『統合報告』の採用に向けた諸条件は、『統合報告ラボ』に対するSEBIの奨励によって創出されたものです。ここでは、Confederation of Indian Industry(インド産業連盟)が招集され、インドの一部有力企業による『統合報告』の試行と実施の様子が見られてきました。」

「『統合報告』を世界の証券規制当局の組織であるIOSCOの原則と整合させ、インド企業に彼らのアニュアルレポート内およびウェブサイト上で『統合報告』を参照できるよう奨励するというSEBIのこうした声明は、注目すべき決断です。この決定はインド企業の統合報告採用を促進するだけでなく、インド以外の国々でも模倣することが可能なものです。IIRCはこの歴史的な進展を実現したSEBIの決断に謝意と祝意を表します。」

新ブログ:

Measuring Relationships: a route to competitive advantage and reduced risk

(関係性の測定: 競争優位性とリスク軽減への道)

Mervyn King 教授

Quality Discovery and <IR>

(クオリティの発見と「統合報告」)

Sebastien

Thevoux-Chabuel

(Comgest 社
ESG アナリスト &
ポートフォリオ・
マネージャー)

The importance of Integrated Reporting for internal decision making

(内部の意思決定のための「統合報告」の重要性)

Nick Shepherd

(Maturity Institute)

Richard Howitt は 2017 年 1 月にインドを訪問し、同地域における「統合報告」採用を主導する市場リーダーたちと面会した。Richard はインド滞在中に、Asia Center for Corporate Governance and Sustainability が主催する第4回 Asia Business Responsibility Summit で基調講演を行い、列席したビジネスリーダーたちは、統合的アプローチの報告活動への採用が、コーポレート・ガバナンスに対する懸念の克服に関し、いかに有益であるかを検討した。

自らのインド訪問に触れ、Richard は次のようにコメントした。「私は今回の訪問がインド経済にとって時宜にかなったものであることを強く認識しています。なぜなら、彼らの経済はまさにリーグテーブルを上っている最中で、かつてないほどグローバルな資本を魅きつけているからです。現在、インドが競争力をさらに強め、他国から進出する企業に開かれた国であるという認識が高まっていることは明らかです。『統合報告』は、こうしたインド経済の発展をサポートすることが可能です。ビジネスの社会的、人間的、知的、自然的、金融的側面について、およびそれらが価値創造にどのように貢献するのかという点に関する明確かつ簡潔なコミュニケーションは、アジア全域で求められているコンセプトでもあります。インド、スリランカ、シンガポール、マレーシア、日本、中国の先進企業はいま、明確かつ簡潔な企業報告を行うべく、『統合報告』に注目しています。

世界経済フォーラムは、インドが Global Competitiveness Index (国際競争力指数) において最速で改善が進んでいる国であることを認識し、国連の世界投資報告書もインドを外資のホスト国として第 3 位に位置づけている。IIRC は、インド産業連盟と緊密に連携しつつ、加盟企業が長期的思考および価値創造について広範な視野を保てるよう、「統合報告」への取組みに向けガイダンスとサポートを提供している。「統合報告」を採用している主要企業には、Tata Power、ITC、および Yes Bank などが含まれている。

Relational Capital

- So What?

(関係性資本：
だから何だって?)

Tim Young
(Renuma Ltd.)

今月の「『統合報告』
事例データベース」

に追加された
新たな事例：
SANLAM
および TVEL

注目のベストプラク

ティス最新事例










については、

データベースを

ご参照ください。

「統合報告」トレーニングは、個々の組織のスキルを向上させ、「統合報告」の実施能力を構築します。

「統合報告財団パートナー」たちが世界中でトレーニングを提供しています。 [Upcoming Sessions](#) から、今後受講可能なトレーニングセッションをお探しください。

	 An instinct for growth™ 
	  CENTRE FOR CORPORATE GOVERNANCE IN AFRICA University of Stellenbosch Business School
 BOSTON COLLEGE CENTER FOR CORPORATE CITIZENSHIP CARROLL SCHOOL of MANAGEMENT KNOW MORE · DO MORE · ACHIEVE MORE	INTEGRATED REPORTING EDUCATION AUSTRALIA A consortium of KPMG, UNSW Australia and Deakin University
	

「統合報告」への移行を進める中国

中国財政部は、「IIRCの活動に深く関与し、『国際統合報告フレームワーク』に（関連する）諸規則の形成に対する中国の影響力を高め…（さらには）中国における『統合報告』の適用可能性および実行可能性について引き続き研究を進める」と声明を出している。

同声明は、同財政部の「第13次5カ年計画の一環である会計（部門）の制度改革および発展に向けたアクションプラン」の一部をなす。財政部がIIRC理事会に参加したことは、中国国内における企業報告の進展に対する関心の高まりを示すものである。

香港を含む「グレーターチャイナ」の多くの企業がすでに「統合報告フレームワーク」の利用を開始しており、中国本土最大の原子力発電企業であるCGN Powerは、2014年11月に香港証券取引所への上場に合わせて「統合報告」を採用している。CGNは「統合報告」への移行を進める理由について、統合報

告が同社の将来の戦略を反映しステークホルダーとの長期的な対話を構築するのに役立つことを挙げている。CGN は最新アナニュアルレポートの中で次のように述べている。「当社では、戦略的計画、コーポレート・ガバナンスおよび事業業績に基づき、短期・中期および長期的に株主価値を創出していく方法に関する重要な情報を関連ステークホルダーに向け十分に説明できるよう、引き続き『国際統合報告フレームワーク』の導入に努めています。」

IIRC のチーフ・ストラテジー・オフィサー、Jonathan Labrey は中国のこうした発展について次のように語っている。「中国は急速な進化を遂げていますが、21 世紀における経済的影響を強化するためには、グローバリズムの導入がその重要な要件となります。1 月に開催された世界経済フォーラムにおける習近平主席の演説でも、国際的イニシアティブへの参画という中国のコミットメントが強調されていましたが、こうした取組みの一環として、財政部が Lin Zhu 氏を代表に指名し、当評議会の理事会に参加することになったことを喜ばしく思います。」

「より多くの中国企業がエクイティファイナンスと国際的な事業拡大を目指す上で、グローバルに受け入れられるコーポレート・ガバナンスと報告規範の整備の恩恵を受けることになるでしょう。『統合報告』は、こうした状況における重要な要素となりつつあります。IIRC では、中国企業のこうした進化を支援するために、中国財政部および当評議会のその他のステークホルダーの皆さんと協力していくことを楽しみにしています。」

国際会計基準審議会の 前副委員長 Ian Mackintosh 氏が 企業報告ダイアログの 新議長に就任

Corporate Reporting Dialogue (企業報告ダイアログ、以下 CRD) の参加企業は、次期議長に Ian Mackintosh 氏を任命し、発表した。同氏は、2016 年 6 月まで 5 年にわたり

International Accounting Standards Board (国際会計基準審議会、以下 IASB) 副議長を務め、国内外の会計基準に 30 年以上携わってきた。同氏はこの経験を活かしつつ、同ダイアログの仕事を通じて世界的な企業報告環境における効率性と有効性の向上を推進していくことになるだろう。

同ダイアログは、企業報告フレームワークおよび同基準、関連諸要件などの間に、さらなる統一性や一貫性、比較可能性を求めるマーケットの要請に応えるために設置されたイニシアティブである。このダイアログには、企業報告環境に甚大な国際的影響力をもつ組織が参集しており、IIRC 運営のもと、CDP、Climate Disclosure Standards Board (CDSB)、財務会計基準審議会 (FASB)、Global Reporting Initiative (GRI)、国際会計基準審議会 (IASB)、国際標準化機構 (ISO) および米国サステナビリティ会計基準審議会 (SASB) と提携している。

Ian Mackintosh 氏は、2014 年 6 月の設立以来、同ダイアログの議長を務めた Transparency International の前会長 Huguette Labelle 氏から議長職を引き継いだ。Labelle 氏は、同ダイアログの「企業報告 Landscape Map」のリリースを監督した。このマップは、企業報告のイニシアティブに関する簡易的なナビ機能とともに、「共通するマテリアリティの原則に関する報告書」の開発を提供することで、マテリアリティの定義を比較し、ダイアログ参加者へとアプローチするものである。この文書のコンセプトとは、ステークホルダーに対し、報告基準の開発および事業報告のあらゆる形式と広範に一致していると考えられる、共通の基本原則を示すことである。

Ian Mackintosh 氏は、自身の就任について次のようにコメントした。「CRD の議長に任命されたことを光栄に思います。私は、このダイアログが多くの点で重要だと考えています。このダイアログでは複数の主要なスタンダードセッターの皆さんやフレームワーク開発に尽力されている皆さんにお互いや最新の発展に関する理解の促進のためにお集りいただいています。この開催によって、できるだけ多くの人びとが互いの取組みを調整し、思考を共有し、相互に関心のある分野で共通の声を発することができるようになるでしょう。全体の目標としては、参加者の皆さんに可能な限り一緒に取り組んでいただくことによって、企業報告の効率性と有効性を向上させることです。」

「私としては、前議長の Huguette 氏が確立した強固な基盤をもとに取組みを前進させつつ、私たちが目指すゴールを達成すべく、さらに幅広いコミュニティと連携していきたいと考えています。」

Ian Mackintosh 新議長のもとでダイアログが踏み出す最初のステップのひとつは、Financial Stability Board (金融安定理事会、以下 FSB) の Task Force on Climate-related Financial Disclosure (気候変動関連の財務情報開示に関するタスクフォース) に共同で対応することであろう。ダイアログ参加企業に対するさまざまな推奨事項の中には、同タスクフォースからの「推奨事項の採用および推奨される開示事項との整合化をサポートするように」という呼びかけも含まれている。

Huguette Labelle 氏は、Ian Mackintosh 氏の新議長就任、およびダイアログが果たす重要な役割について次のようにコメントした。「2014 年 6 月の CRD 発足以来、より一貫性の高い企業報告システムをサポートする各種プロジェクトに参加することで、整合性に向けた重要な進展が見られました。ダイアログは、世界で最も広く採用されているさまざまなスタンダードやフレームワーク相互間の議論を促進するための重要な手段であることが証明されており、このダイアログによって企業報告書の作成者および利用者には、より明確な情報を提供していくための真の努力が求められているのです。」

「私は、CRD がこれまで成し遂げた業績を誇りとしつつ、いま後継者にこの仕事を引き渡そうとしています。Ian Mackintosh 氏はこの分野で豊富な経験を持っており、私は彼こそが、この課題を推進し、企業報告フレームワークと企業報告スタンダードの間に、さらなる統一性、一貫性、比較可能性を実現するよう、真の変化をもたらすことができる人であると確信しています。」

IIRC の CEO、Richard Howitt は、次のように述べている。「今日の世界における主要なフレームワーク開発者およびスタンダードセッターとして、CRD の参加企業は、世界中の市場に利益をもたらすために報告内容の調整を行う責任があります。Ian Mackintosh 氏の議長就任により、こうした努力に新たな活力を加えつつ、さまざまな組織が効果的に価値創造のストーリーを伝えることができるよう、IIRC は新議長や他の参加企業と協働していくことをお約束します。」

FSB の「気候変動関連の財務情報開示に関するタスクフォース」への対応

FSB が 2016 年 12 月に発表した「Task Force on Climate-related Financial Disclosure (気候変動関連の財務開示に関するタスクフォース)」の報告書において、企業が直面する気候変動の脅威に対するリスク管理を「統合」すべきである、と勧告したことを IIRC は歓迎している。IIRC は、気候変動に対処するための真のアクションは、開示の範囲を広げることによってのみ可能となると確信しているからである。

IIRC では、相互につながった複数のリソースおよび関係性の管理に向けたアカウンタビリティの拡張により、コーポレート・ガバナンスを改善する既存の試みとタスクフォースの勧告を整合させるさまざまな努力に対する支援を行っている。こうした勧告を行うことが、企業行動と投資行動ならびに意思決定の根本的再編につながるばかりでなく、より一貫性のある統合的な企業報告システムのための触媒としての行動に結びつくはずである。

IIRC は、5 つの重要なポイントを設定し、タスクフォースの勧告に依拠していく。

1. 主流となっている財務開示へのインクルージョン (包含)
2. 価値創造および財務リスクの重視
3. 効果的なリスク管理
4. 企業報告ランドスケープ (環境) の整理
5. 実施を支援する IIRC 活動の提案。

IIRC の対応の詳細は、[IIRC ウェブサイト](#)から入手できます。

IIRC は、主要なスタンダードセッターとフレームワーク開発者 8 組織を全世界から招集し、タスクフォース勧告への共同回答の提出を目指す CRD の一参加組織として活動している。これは、タスクフォースが「勧告の採択と推奨開示事項との整合化を支援する」よう報告組織に奨励する取組みと連動している。

IIRC では、タスクフォース勧告に関心を寄せるさまざまなパート

ナー企業がこの重要な協議に応じてくれるよう奨励している。

重要な組織との連携を強化し、 企業報告の進化を目指す IIRC

IIRC では、当評議会が掲げるビジョンとミッションに不可欠な重要なパートナーたちとの協力関係を深化し続けている。IIRC は直近数ヶ月間に、スタンダードセッターおよびフレームワーク開発者や、当評議会の傘下にある組織との間で、多くの Memorandums of Understanding (共通理解の覚書、以下 MoU) を更新した。IIRC は現在、CDP、Global Reporting Initiative (GRI)、IFRS 財団、国際会計士連盟、SASB (米国サステナビリティ会計基準審議会)、UNCTAD (国際連合貿易開発会議)、WBCSD (持続可能な開発のための世界経済人会議) などの諸機関と MoU を取り交わしている。こうした組織とのコラボレーションは、世界中の企業報告環境を開発し、「統合報告」採用のペースと規模を設定していく上で非常に重要なものとなる。

IIRC は、その他数多くの重要なパートナーの皆さんとともに、これらの組織と共同で引続き作業プログラムの開発にあたっている。このようにして、このパートナーシップが具体的な成果の実現とさらなる連携を可能にするよう注力しているのである。

IIRC の CEO、Richard Howitt は、パリで開催された IFRS 財団の管理委員会会議へ出席するよう招待された。これにより、「統合報告」というコンテキストにおける財務報告の重要性を強化し、継続的な調整を歓迎する機会が提供された。当評議会では、IASB 会長 Hans Hoogervorst 氏が「IASB では、『統合報告』が果たす役割を、よりよいコミュニケーションテーマの一部と考えている」という最近のコメントを、ECON (欧州議会の経済通貨委員会) に伝えたことをお知らせしたい。

WBCSD は、2017 年 1 月にダボスで開催された世界経済フォーラムの会議に Richard Howitt を招聘し、そこで Howitt は WBCSD の新たな報告書「サステナビリティと全社リスク管

理 — 統合への第一歩」の出版に際し、スピーチを行った。IIRC はそこで、リスクの検討に向けた新たな発想を生み出す際に「統合報告」の果たすことができる役割を強調しているこの重要かつタイムリーな出版物に歓迎のメールを送った。

最近、IIRC は、サステナビリティと統合報告の両立を求める企業にとってチャンスを提供するプログラム、Corporate Leadership Group on Integrated Reporting (「統合報告に関する企業リーダーシップ・グループ」を GRI と連携し、取り組むことに合意した。

IFAC は近頃、方針ペーパーを発行し、当評議会のパートナー企業向けのスタンダードの設定も行っている。(上記の記事を参照

「統合報告」の実施に役立つ最新出版物:

以下に、皆さまの組織が「統合報告」を進める上で参考になる最新出版物の一部をまとめる。

- [「Value of value: Board-level insights \(価値という価値：取締役会レベルの洞察\)」](#) International Certified Professional Accountants (国際公認会計士協会)、Black Sun、IIRC
- [「Disclosure of performance against strategic objectives \(戦略目標に対するパフォーマンスの開示\)」](#) Integrated Reporting Committee South Africa (南アフリカ統合報告委員会)
- [「Integrated Reporting: Driving and communicating value creation \(総合報告：価値創造の推進とコミュニケーション\)」](#) Compagnie nationale des commissaires aux comptes and the institut francais de l'audit et du controle internes (英語翻訳)
- [「Marketplace working group on the notion](#)

of value creation by companies and the associated forms of reporting (企業による価値創造の概念および関連する報告書の形式に関する市場ワーキンググループ)」 Europlace

- 「Corporate governance policy in the European Union through an investor's lens (投資家の視点から見る EU のコーポレート・ガバナンス方針)」 CFA Institute
- 「Integrated Reporting: Linking strategy, purpose and value (統合報告 — 戦略、目的、価値のリンク)」 EY
- 「Sustainability and enterprise risk management: The first step towards integration (サステナビリティと企業リスク管理：統合への第一歩)」 および 「Reporting Matters (報告書類)」 WBCSD (持続可能な開発のための世界経済人会議)
- 「Triangles, Numbers and Narratives (トライアングル、数字および物語)」 BSR
- 「Reporting your business model (貴社ビジネスモデルの報告)」 および 「A foot in the past and an eye to the future (過去の足跡と未来への視座)」 PwC
- 「Integrated Reporting moving towards maturity (成熟に向かう「統合報告」)」 Deloitte



Website Twitter LinkedIn YouTube

Contact: juliet.markham@theiirc.org

Copyright © 2017 International Integrated Reporting Council, All rights reserved.
[unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)